

サンセイランディック大阪便り Vol.27

平成26年3月号

サンセイ ニュース

三月の事を古くは弥生といいますが、「弥(いや)」とは「いよいよ」「ますます」等の意味で、「生(おい)」とは「生い茂る」と使われるように、草木が芽吹く事を意味するそうです。つまり弥生とは草木がだんだんと芽吹く月、その名の通り長かった冬もようやく終わり、大阪城の梅園も美しい季節を迎えました。個人的には毎年花粉症に苦しむこの季節、皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて我々サンセイランディックは、平成26年1月30日をもちまして、東京証券取引所第二部に指定替え致しました。これもひとえにお取引様はじめご支援下さる皆様のおかげです。有難うございます。



上場による知名度の向上、平成27年以降の税制改正において増加する相続税課税対象者の方達からの注目度、また不動産・株価等のマーケットの上昇など、追い風が吹いているとも大いに考えられますが、地道に営業活動を行ってきた成果がもたらした結果であると僭越ながら思っております。昨年度、会社単体では利益面で過去最高益を達成し、大阪支店も昨年は目標値をクリア、今年は人員を増やそうかという話にもなっております。最近では、営業先で株主になって下さった方にお会いする機会も増え、株価の事を質問される事もあり、本当に嬉しい限りです。今後はさらに業績の拡大はもちろんの事、より安定的に利益を上げ、より公正かつ忠実に事業を遂行していくことが求められていくと思っております。

「不動産権利調整」という分野に注力し、一番に選ばれる会社、一番に頼られる会社を目指している弊社にとっては、これからもブレずに不動産権利調整のプロフェッショナルとして一層スキルを究め、高めていくという事が、全てのステークホルダーの皆様に喜んで頂ける事であると信じ、我々は日々営業活動に邁進します。今後もサンセイランディックを宜しくお願い致します。

社員の 独り言

大阪に来てから早一年半の月日が経ちました。その間に起こった変化といえば、家族の会話がほぼ大阪弁になったという事です。埼玉出身の私だけまだ話せませんが（明らかに違和感があって妻から嫌がられます）、福岡出身の妻はもちろんの事、昨年4月から保育園に通園している4歳半の長女はほぼネイティブに、もうすぐ2歳の長男は「アカン」という言葉が気に入ったのか、アカン、アカンと常に連発しています。

その他、食事も変化してきました。よく食べる麺類は蕎麦からうどんになり、お好み焼きやたこ焼といった、いわゆる「粉モン」を食べる機会が明らかに増え、最近は種類が豊富なソースに凝りだしてきました。

そんなこんなで関西にすっかり馴染んできた私達ですが、どうも小さな子二人連れの外出はなかなか大変で、近場に出かけるのが精一杯だったのですが、妻も私もようやく精神的にも落ち着いてきましたので、先日関西で初めてのスキー旅行に行ってきました。兵庫県養父市のハチ高原スキー場というところでしたが、子供達にとっては初めてのスキー場、白銀の世界での初めての雪遊びにおおいに興奮し、満喫したようでした。

今回の旅行で子供達の笑顔を見て、これからも色々な経験をさせてあげたいと改めて感じました。有名観光名所、スポットも数多くある地域であり、また京都も神戸も近い大阪に生活の拠点を置き、これからはどんどん家族との外出を増やしたいと思っております。その為にお父さんは頑張ります！！



底地・居付き、買います。

株式会社サンセイランディック 大阪支店
〒550-0012 大阪市西区立売堀 1-2-14 本町産金ビル 9F
TEL : 06-6532-8830 FAX : 06-6232-8831

底地くん

